日中友好新聞

府連通信

2020年３月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

第８回中国百科検定の延期について

新型コロナウィルスの感染の広がりのため

日中本部は２月28日、当面の会議と百科検定試験の実施の是非について検討し、各種会議や行事の中止・延期を決めました。

感染の広がりが懸念されるなか、苦渋の決断です。とくに高齢の方や持病をお持ちの方の感染リスクを重視しての判断です。

延期した会議の日程にいては、現時点では新型コロナウィルスの終息の見通しが立たないため、政府が自粛を要請している２週間の、期間が終わる３月10日時点での状況を踏まえてあらためて検討します。

大阪府連は３月15日からの中国百科検定各種講座と日中カフェは予定通り行います。

中国百科検定試験　各種講座のご案内

３月１５日（日）１５時～初級対策講座 講師；山本恒人

３月１６日（月）文化直前対策講座（３級～２級中心）
府連３０５号室　１８：００～講師；高田佳誉子

３月１８日（水）政法経直前対策講座（３級～１級）
府連２０５号室　１４：００～講師；山本恒人

中国百科検定・日中カフェ（自由学習スペース）
３月１５日（日）１０：３０～２０：００（２０５号室）

お問い合わせ・申し込みは日中府連事務局まで

アジアから問われる日本の戦争展

加害があるから被害がある、そのどちらかだけを語るわけにはいかない。

そのことをこのクニに生きる人には忘れてほしくない。

５月４日・５日
エルおおさか７階・９階
入場無料
賛同募金１口５００円
複数口お願いします。

新型肺炎患者へ　中国支援募金を

新型肺炎とたたかう中国への、支援募金ありがとうございました。第１次分として、３月３日18名分７８５２０円を、本部に送金しました。

引き続き中国支援募金に取り組みますので、ご協力をお願いします。送金先口座は、ゆうちょ銀行からは記号番号１４０５０－１９３６７３１１各金融機関からゆうちょ銀行四〇八店　１９３６７３１へお願いします。

本部は全国的な支援を開始しています。医療物資や資金を本部に集中し、迅速で安定的に医療物資不足に悩む中国の衛生保健当局に届けるようにしています。

東大阪支部役員会　仲間増やしを論議

２月21日東大阪支部役員会を開催、３月の餃子講習会を新型肺炎のため中止、講師を依頼していた帰国者から参加できないとのこと。こんなに新型コロナが広がるとは予想外でしたが中止して良かったです。東大阪市のすべての会場から、休館の連絡がありました。

役員会では関西ブロック会議の内容を報告し、宣伝紙を３部渡し、仲間を増やしていくことも意思統一しました。準会員から会員に移行してもらいました。

東大阪支部総会を５月15日に開催する予定です。（栗山俊子）

城北支部５月に飛鳥ハイキングを計画

会員拡大と配達・集金体制の強化も論議

城北支部は２月25日定例の支部世話人会を開催しました。世話人会では冒に２月９日急逝された藤田俊樹・城北支部事務局次長を悼み黙祷を捧げました。

会議では日中友好新聞の組織配布と集金体制を確立して半年が経過、支部ニュースも６号まで発行してきたことを確認し、会員拡大と集金体制の徹底と会費の前納制を論議しました。

３月活動については５月17日の飛鳥ハイキングを成功させる為にコースの選定などを話し合い、下見を28日に実施することを決めました。さらに支部主催の学習会の開催も視野に取り組むこと、来年は中国旅行を実施、担当に松尾さん、西脇さんを決めました。３月２日には、支部ニュース７号の編集会議を開き、魅力ある紙面づくりについて話し合いました。（佐藤倫理）

飛鳥 石舞台古墳

日中合作ドラマ「望郷の星 長谷川テルの青春」26日の上映会は諸般の都合で延期します

第二回上映会「活（い）きる・活着」

青年と女性部の中国映画を観る会

主催　日中友好協会大阪府連
青年と女性部の
中国映画を観る会

映画名
「活きる　いきる」
チャン・イーモウ監督
４月18日（土）１時半
（開場　13：00）
国労会館（ＪＲ天満駅下車）
資料代　５００円
定員40人（申込制・先着順）

日中堺支部「堺市役所へ要請」

連雲港市へマスク１万枚支援

堺市立国際交流プラザは毎月、メールマガジンを発行しています。３月号（１１２号）には支部が取り組んでいる学習会「南海トラフ巨大地震を考える」４月23日（木）午後２時から国際交流プラザ６階の告知記事が掲載されました。発行された数時間後にさっそく市民から申し込みがありました。さらに堺市国際課から「堺市内民間国際交流団体プロフィール」掲載の案内があり、近日中に掲載される予定です。

支部は毎月、国際交流プラザで例会を開催したり、市民活動サポートセンターに事務所を構えたり、日常的に活動している団体として市民権を得たのではないか、浅田支部長や城副支部長（前堺市議）が交渉を重ねた結果ではないかと考えています。

１月末に行った国際課との懇談の様子は府連通信や日中友好新聞に詳しく紹介されています。続けて２月13日（木）国際課と懇談を行い、新型コロナウイルス感染に対する支援を要請しました。その結果、堺市は友好都市である連雲港市に緊急支援物資としてマスク１万枚を送ることになりました。（石井勉）

佐賀で太極拳種目別講習会
陳式や楊式など5種目を練習

日本中国友好協会２０２０太極拳種目別講習会が２月22日から24日、佐賀市立大和勤労者体育センターで、山形から長崎まで全国各教室から76名が参加して開催されました。

講習種目は簡化太極拳24式上級クラスを恒岡正勝指導員が、簡化太極拳24式一般クラスを上戸眞弓指導員が、楊式太極拳を高橋清枝指導員が、陳式簡化太極拳36式を青木正美指導員が、42式剣を福岡和恵指導員がそれぞれ担当し、３日間熱心に受講しました。24日午後には２段、３段審査が行われ７名が受験しました。

上級クラスは「式と式の途中に意味がある」と本来の型の意味を知ることにより、太極拳を正しく演じられるようになり興味も一層深まると解説され、24式を基本に体の動かし方や太極拳の基本原理・原則を中心に学んでいました。

24式上級クラス

各地から参加した約20名で恒岡先生の指導を受けました。１日目は骨格の説明に始まり立ち方、三点指示、軸と揺らぎ等を体感。練功用具を使って内三合、外三合、上下相随の動きを練習しました。特にジェリーパットをもちいての様

10月に太極拳攻防講座パート八
「捨己従人」「用意不用力」の謎に迫る

２０２０年攻防講座パート八の日程が決まりました。昨年攻防講座パート七は、ヌンチャク（双節棍）の武術としても健康法としても役立つ、正しい操法を紹介して、喜ばれました。今年は八回目になる攻防講座を計画いたしました。

太極拳は「聴勁と化勁」の技と言われています。型の意味や「捨己従人」・「用意不用力」の謎に迫ります。本質を知るための基本功も紹介します。ぜひご期待下さい！！

前回の攻防講座パート７

10月17日（土）～18日（日）
京都府八幡市石清水体育館

主催：日中友好協会大阪西支部

対象者は24式の熟練者かそれに相当する方。

様な功法を教えて頂きました。

２日目、套路に沿ってそれぞれの形の意味、体の使い方の説明を受け、用具を使ってゲーム感覚で体感しました。

３日目套路の説明、壁トレを紹介された後全員で24式太極拳を何度か表演し講習が終わりました。今回コロナウイルスの影響で参加者が少なくなりましたが、恒岡先生の様々な工夫、考え抜かれた講習に刺激をもらい楽しい３日間になりましたより多くの人に今回の講習内容（工夫された功法等）を伝え太極拳をより楽しんでワクワクを感じてもらえるようにしたいと思っています。

（野口久實子）

陳式クラス

新型コロナウイルスにより、スポーツ・文化イベント開催自粛が求められている中、無事終えることができ良かったです。陳式簡化36式を青木先生に教えていただきました。９名の少人数グループで、にぎやかに仲良く楽しく学んできました。初日は手型・歩型・手方の基本練習、練功図を見ながら左手と右手で円を描いたり、S字で回したりの練習は、西支部でもやっていて重要な基本動作です。２日目・３日目はかけ足で36式を最後まで教わりました。

「する」から「なる」へ「なる」太極拳ができたら、解からなかった謎が解けるように、おもしろい太極拳を経験できる気がします。

（山本範枝）

若者たちの結婚と子育て
中国最新報告⑨ 福建省厦門と福州を訪ねて

大学卒業後も交流を続けていた卒業生の多くは20代で結婚。ほとんどがお見合い結婚。

若者に二つのプレッシャー「結婚」と「男子出産」

大学を卒業すると就職して働く。２～３年経つとお見合いが待っている。春節や国慶節など大型連休に帰省すると、両親や親戚から「結婚はいつするのか？」という話が必ず出てくる。やがて、20代半ばを過ぎると、話だけでなくお見合いが待っている。

春節に帰ると１回だけでなく何回もお見合いをしたと話している。男女とも結婚のプレッシャーはかなり大きいようだ。彼らは日本語で「結婚の圧力が大変！」と言っている。

お見合いをしてすぐ結婚することを「闪婚 shan hun（閃婚）」と教えてくれた。多くは同郷か実家の近くの者同士が結婚。そういえば当時、学生から「先生、中国では学生時代の恋愛と実際の結婚は違うんですよ。」という言葉をたびたび耳にした。

また、卒業生の一人が「男子を出産しなければ風当たりが強い状況はまだまだある」と涙ながら語っていたのが印象的だった。若者に結婚することと男子を出産しなければならないという二つのプレッシャーがあるのが現代中国の一面である。

毎日のように見られる小学校の送迎風景し

子育ては両親が

中国では、子育ては祖父母が行い若い夫婦は働くのが一般的。龍岩で官舎生活をしていた当時、おばあさんやおじいさんが幼い子どもの世話をしている場面を毎日見てきた。

今回の結婚披露宴に参加できるのは、夫の母親が子どもの面倒を見ているから。私を空港へ迎えに来て披露宴に参加した卒業生は、義母に３日間子供の面倒を見てもらっている。

驚いたのは、厦門で働いている卒業生のことである。毎日の子育ては、義母がしているという。彼女は１週間のうち５日間を厦門で滞在し働いている。土曜と日曜だけ高速鉄道で浦田の家に帰る生活をしている。

Ibisホテルの隣は小学校。朝食を食べていると前の路上が人盛り。子どもを小学校に送るおじいさんやおばあさんで溢れている。昼食時や夕方になると迎えも祖父母で溢れる。　小学校の送迎は彼らの役割なのである。もちろん帰ってから面倒を見るのも・・・。

日本のような専業主婦はほぼいない。また、保育園もない。子どもが生まれたら０歳から祖父母が見るのが当たり前で、幼稚園または小学校に行くまで一日中面倒を見る。日本人の私から見ると、中国のじいじとばあばは大変だと思う。

（浅田勝美）

24式上級クラスの指導に当たりました

今回全国規模の合宿では初めて、本質を極めるための基本功や形の意味も紹介、体の動かし方の原則や立ち方、歩き方の基本をできるだけ易しく、面白い内容で指導したつもりです。

多くの方から、この方が楽にやれる、遊び感覚の功法も帰って取り入れたいなど感想がありました。持って行った練功用具も完売しました。よかったという声もたくさんの方からありましたが、套路（型）を流してやると、やはりそうは簡単に身につきません。基本功もそんなに簡単に身につくはずがありませんので、これからも続けてやってほしいと思います。

更に学習を続けて、基本功の大切さ、形の意味、立ち方、歩き方の基本を理解することによって、太極拳をより楽しく、演じられる時が来ると思います。

（恒岡正勝）